

「世界経済はこの苦境からいかに脱却するか」を

テーマに講演会を開催

当厚板シェアリング工業組合東京支部は、東京鉄鋼販売業連合会、関東コイルセンター工業会と共催で、去る2月5日（水）、午後6時より、鉄鋼会館801号室において、「世界経済はこの苦境からいつ脱却するか」と題する講演会を開催した。

講師には、セブン銀行の安齋隆社長をお招きし、約160名の出席者を得て、盛況裡に開催された。安齋氏は、日銀理事、旧長銀頭取のキャリアを経て、現在も金融業界の最前線に身を置く立場から、直面する金融危機にいたった経緯、米国におけるこれまでの金融政策の実情やオバマ政権下の今後の展望などを中心に講話が展開された。

要約すると以下の通り。

「米国の地位は、世界の政治経済両面で長期的には低下してゆくだろうが、依然基軸通貨国として君臨し続けるだろう。それに代わる通貨、国が見当たらない。世界経済が立ち直るには壮大なプランが必要だ。そのカギを握る米国不況は意外に深く、広く、長く続く感じがする。オバマ効果でいったんはいい効果が出て、するすると火が消える。世界経済もその繰り返しがただらと続くのではないか。皆様をはじめ日本企業はひたすら生きるために頑張るしかない。今はそういう状況だ。資金不足への備えをして、今から自衛に万全を期すことだ。」 非常に厳しい見通しの講話に終始し散会となった。

以上